

中期経営計画 **SZ-20** の進捗状況

2013年 11月 6日

日本ゼオン株式会社

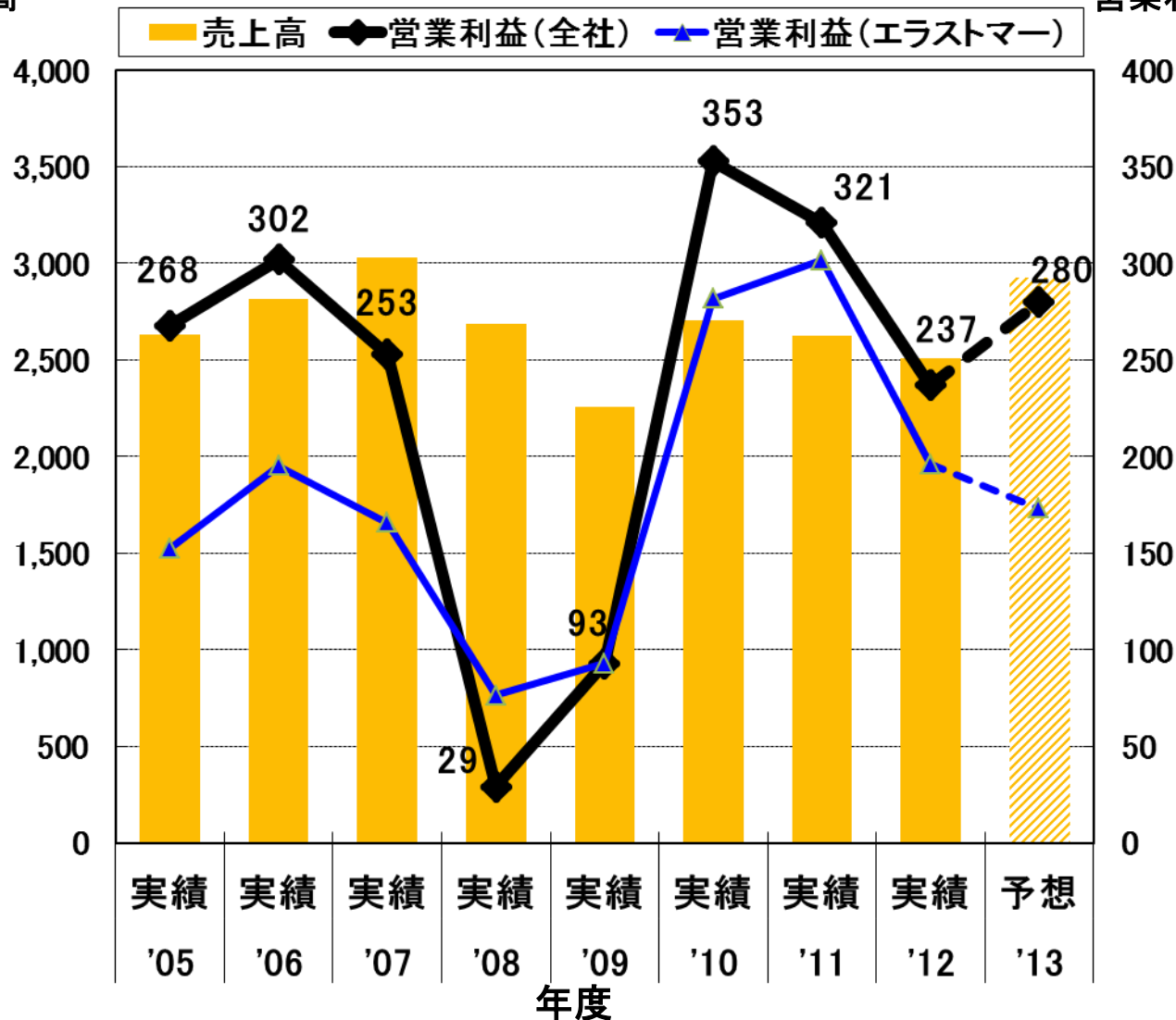
代表取締役社長 田中 公章

- I. 今年度業績と経営環境
- II. 中期経営計画 **SZ-20**
- III. 事業トピックス
- IV. 業績目標

連結業績推移

(億円)
売上高

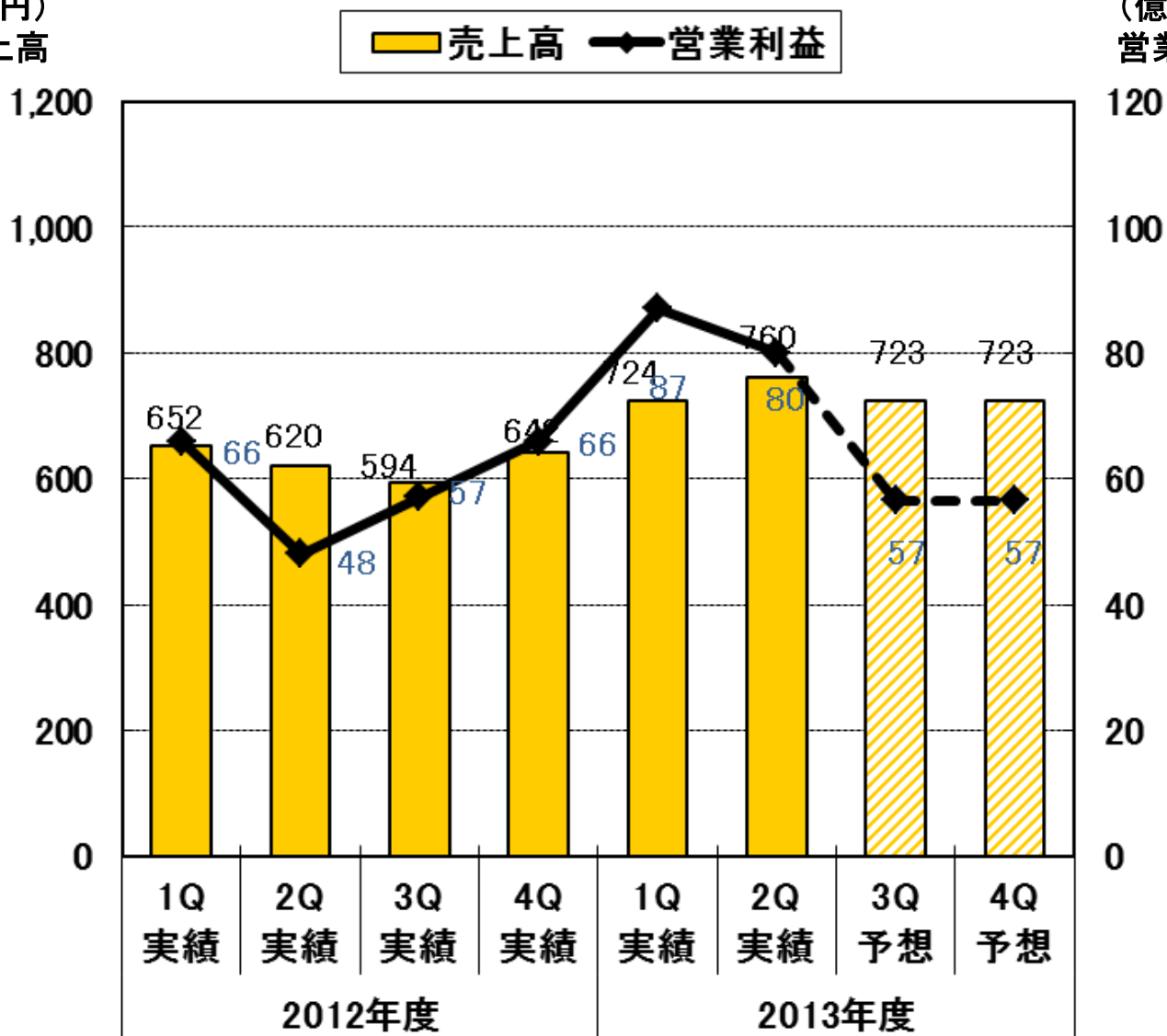
(億円)
営業利益



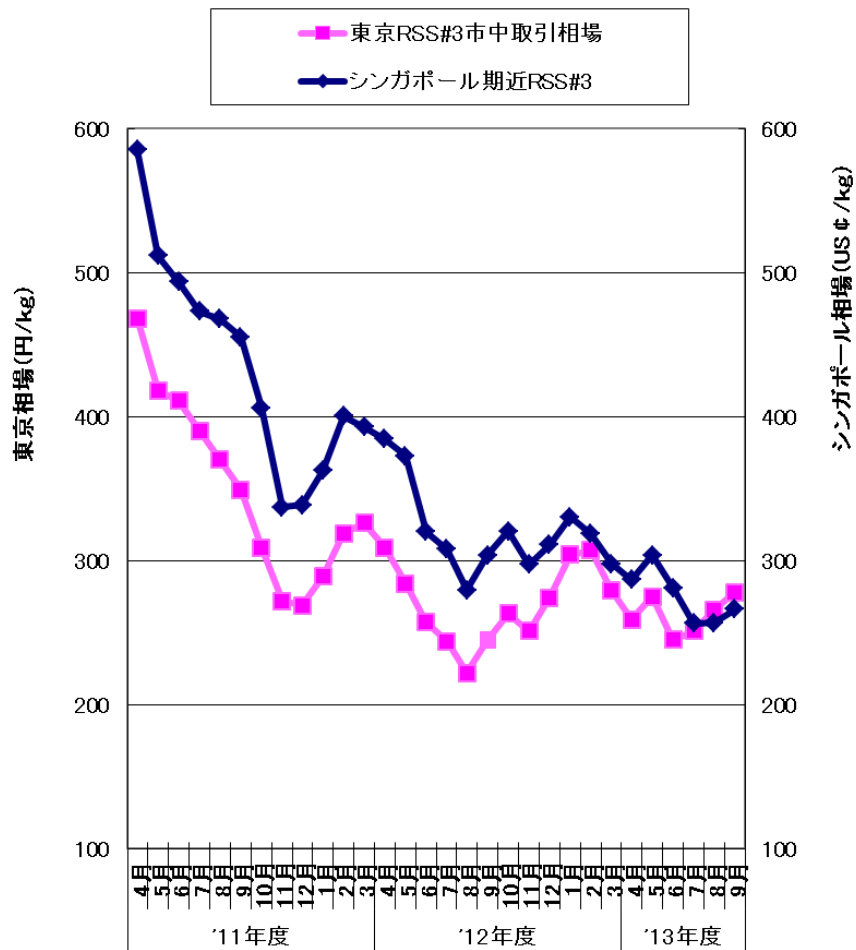
連結業績推移(四半期毎)

(億円)
売上高

(億円)
営業利益

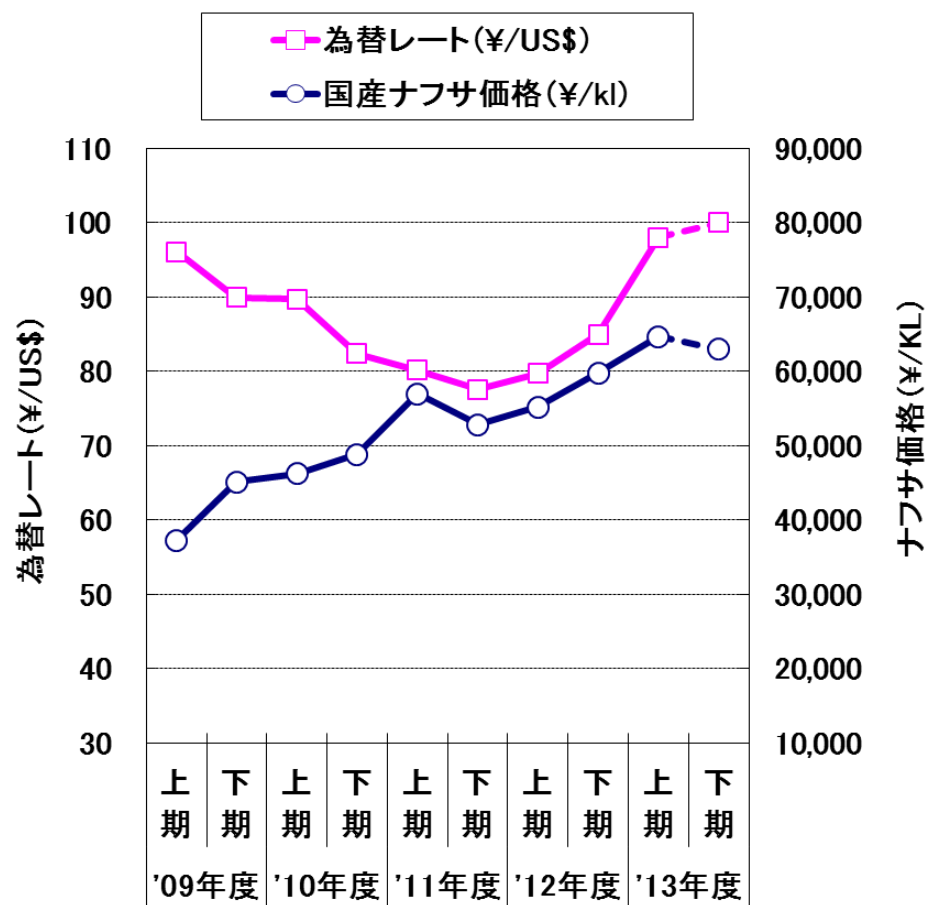


天然ゴム市況

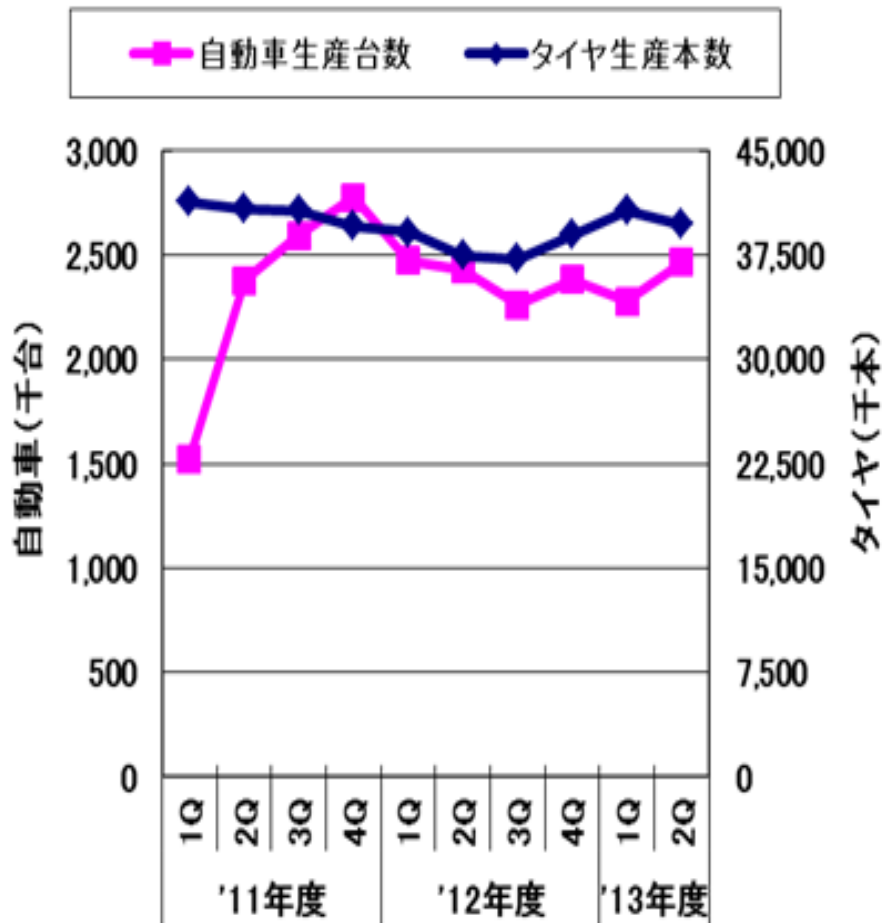


(出典: 合成ゴム月報)

為替と国産ナフサ価格

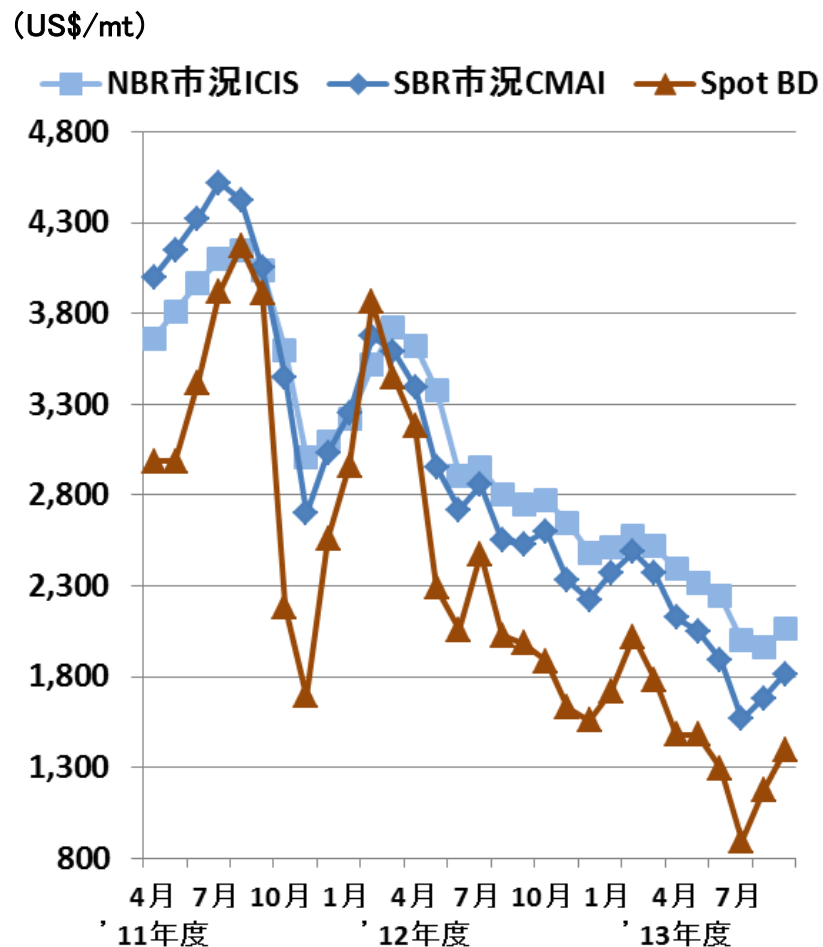


国内 自動車・タイヤ生産量



(出典: 日本自動車工業会、
日本自動車タイヤ協会)

合成ゴムと原料ブタジエン市況



NBR市況_CFR東南アジア(出典: ICIS)
SBR市況_CFR東南アジア(出典: CMAI)
スポットBD_CFR台湾(出典: PLATTS)

SZ-20

2011～2013年度までの
実行計画に展開

重要な
価値観

スピード

対話

社会貢献

大切にする
ゼオンらしさ

-仲間との
相互信頼-

2020年のありたい姿

- 化学の力で

未来を今日にする

ZEON -

わたしたちゼオンは、お客様の夢と
快適な社会の実現に貢献し続けます。

エラストマー素材事業と高機能材料事業のそれぞれの強みを磨き上げ、両輪でグローバルに事業を拡大する

2020年度連結売上高5,000億円

2020年度海外生産高比率50%

事業セグメント別戦略

エラストマー素材事業

成長市場への
グローバルな対応による
強い事業の更なる強化

高機能材料事業

重点3事業分野での
研究開発の加速による
事業拡大

事業セグメント別戦略

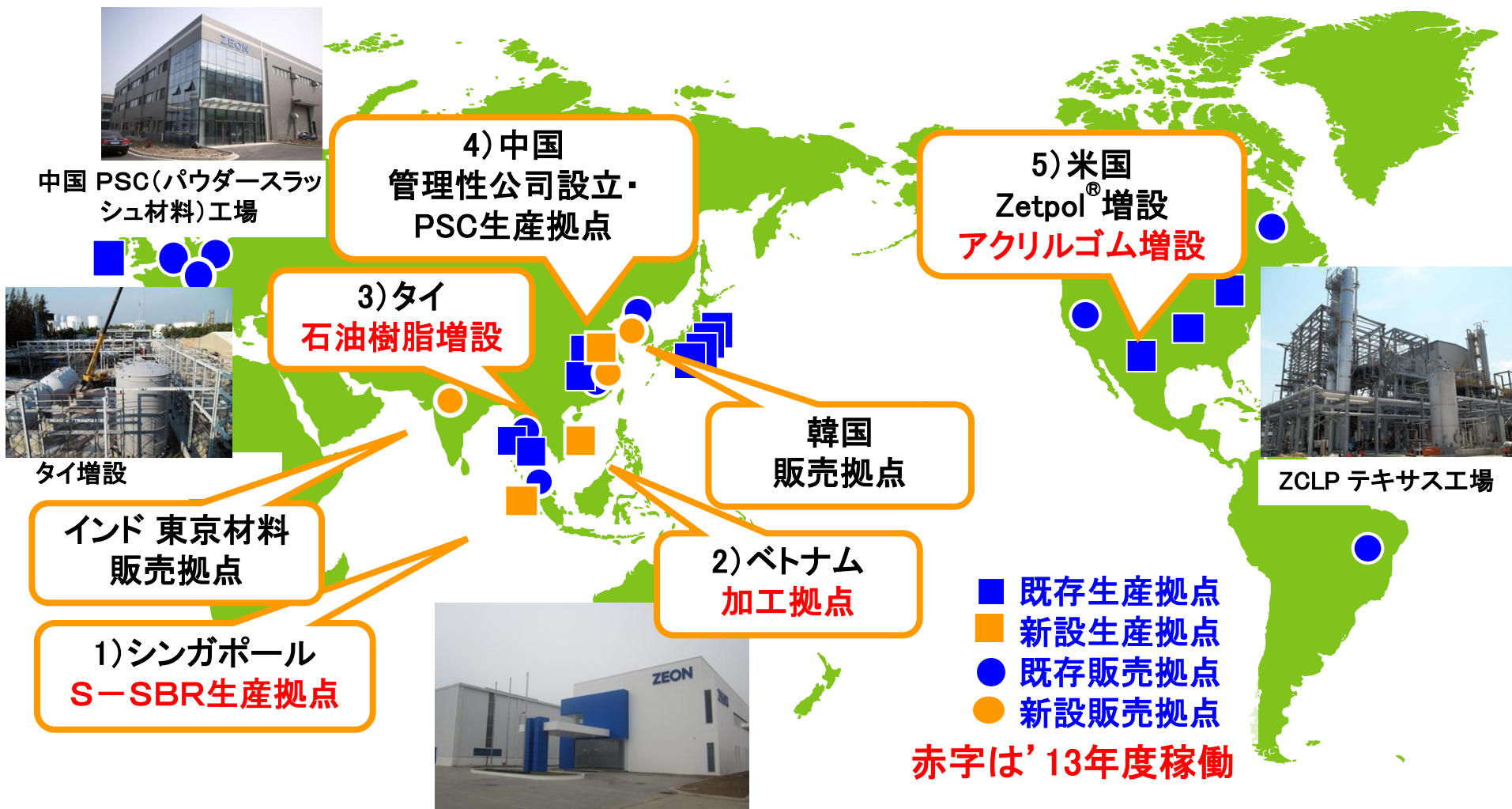
エラストマー素材事業

成長市場への
グローバルな対応による
強い事業の更なる強化

高機能材料事業

重点3事業分野での
研究開発の加速による
事業拡大

成長市場へのグローバルな対応による強い事業の更なる強化



S-SBR新プラント 運転開始

拡大する低燃費タイヤ市場向けに供給能力を確保する

シンガポール工場

2013年3月 建設工事完了

2013年7月より試運転(重合～乾燥)開始

⇒12月からのフル操業に向け、
操業の安定化と品質の作り込み

シンガポール新工場

2013年9月
初期商業運転開始

乾燥機



乾燥機出口の製品



需要家評価用サンプルの出荷開始
⇒評価状況は良好→早期承認へ

エラストマー グローバル展開【シンガポール】

Zeon Chemicals Singapore Pte. Ltd.(ZCS) 工場

乾燥棟 4階から



重合エリア

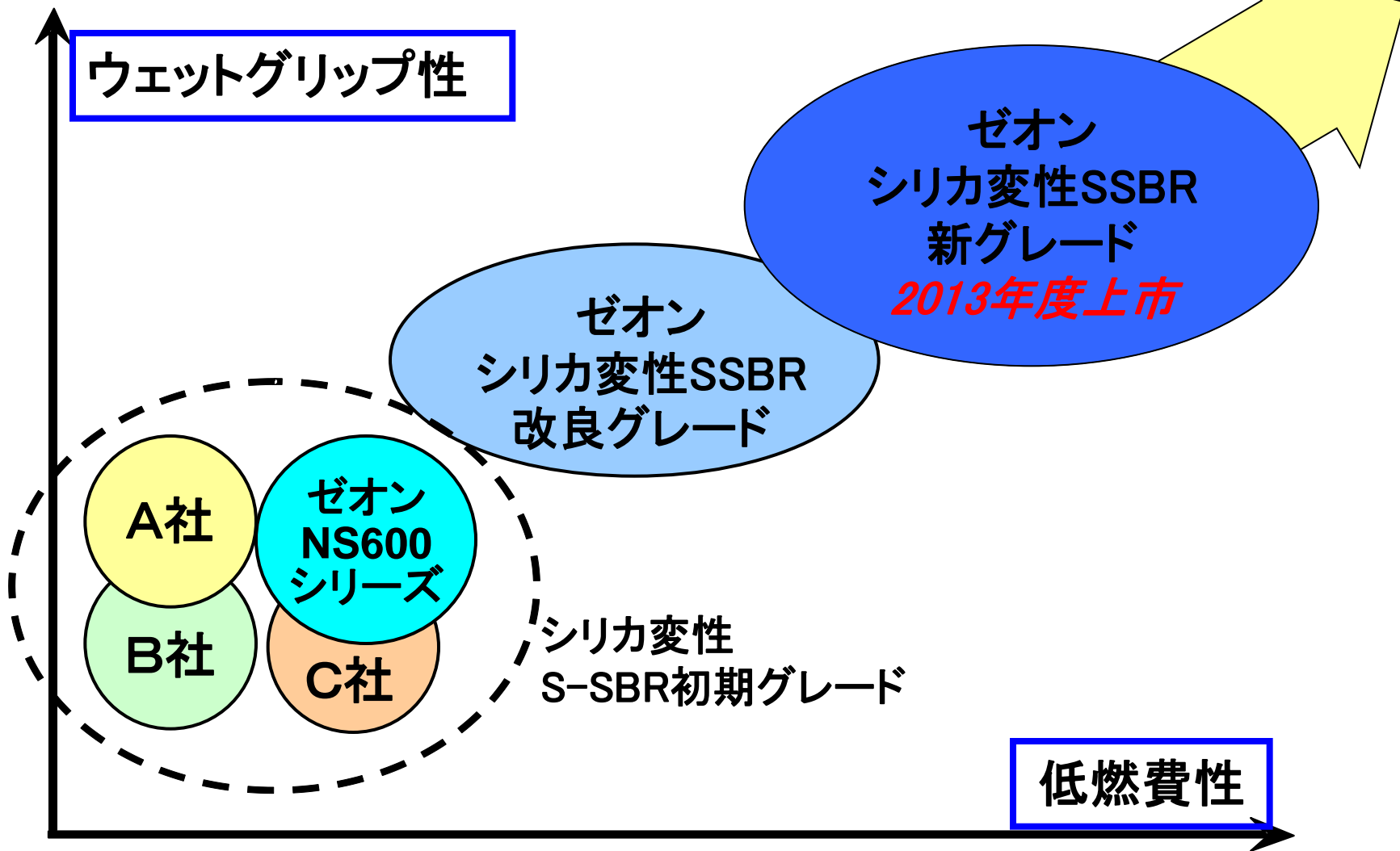


タンクファームエリア



低燃費性能(低転がり抵抗)、ウェットグリップ性能に加え、
タイヤのライフサイクル全体でのCO2排出削減には、
耐摩耗性向上も重要

+ 耐摩耗性等も重要に



第二系列(2016年予定)

シンガポール工場

メイングレードの量産
→徳山工場からの生産移管

(製品ラインアップ)

- ・カーボン変性S-SBR
- ・カーボン変性BR
- ・シリカ変性S-SBR
- ・シリカ変性BR

低燃費性能、ウェットグリップ性能、耐摩耗性能等のタイヤに要求される性能を高次元でバランス可能

徳山工場

特殊グレードの量産
新製品試作→立上げ→量産
(パイロットプラント)

研究所

低燃費性能、ウェットグリップ性能、耐摩耗性能等をより高いレベルでバランスできる新製品の開発

エラストマー グローバル展開【ベトナム】

加工拠点を設立、輸送用コンテナ(STE^C®)工場建設

S-SBR新プラント向けや一般工業用途に出荷する

ベトナム工場

2013年4月 試運転開始

合成ゴム用コンテナ(STE^C®)

2013年6月
本格稼働開始



日本、シンガポールへ出荷開始

C5石油樹脂 プラント増設

世界的に旺盛な粘着テープやトラフィックペイントの需要にこたえる

タイ工場

子会社のゼオンケミカルズタイランド社に従来と同規模のプラントを竣工、稼働開始。

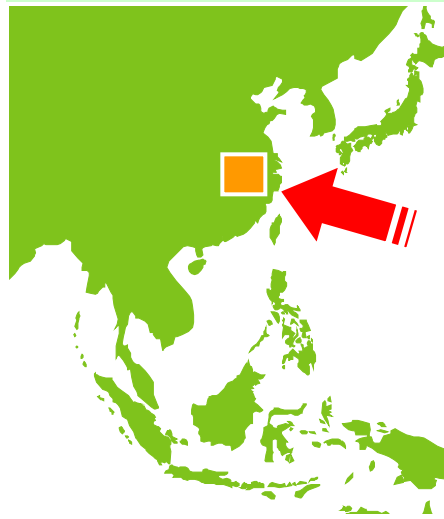


パウダースラッシュ材料(PSC)工場増設

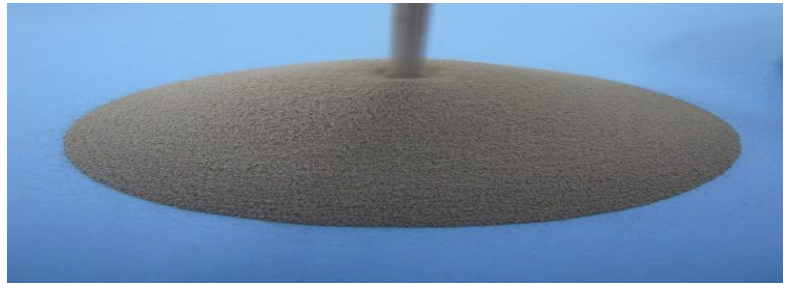
自動車内装用材料を中国市場他に供給する

中国PSC工場

2012年4月 第1系列 稼働開始



自動車のインパネ表皮材に採用



第2系列の増設完了
能力2,400^ト／^Y
(2013年11月～)

水素化NBR(Zetpol[®])、アクリルゴム プラント増設

子会社のゼオンケミカルズL.P.社各プラントに増設

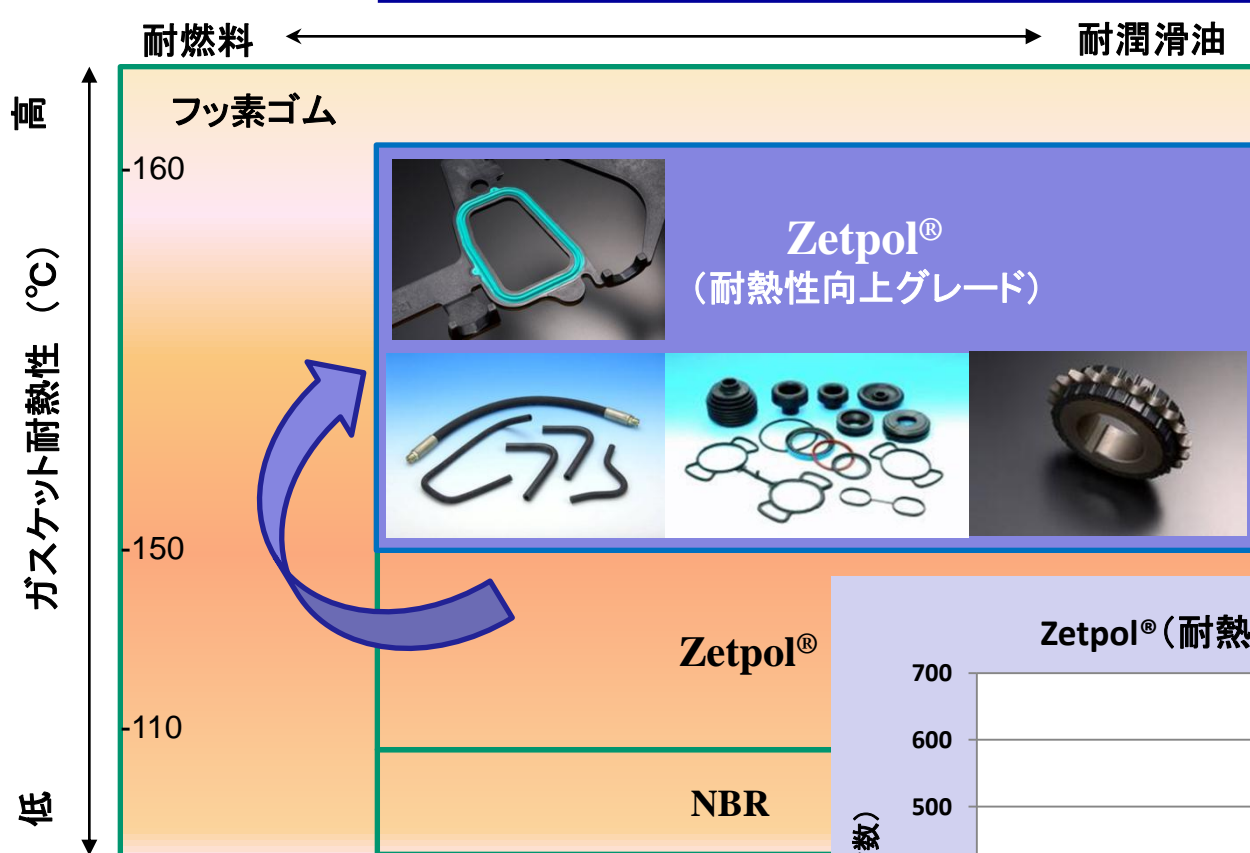
テキサス工場
Zetpol[®]増設
2012年4月稼働開始



世界的な自動車生産台数の増加と長寿命化へのニーズに対応する

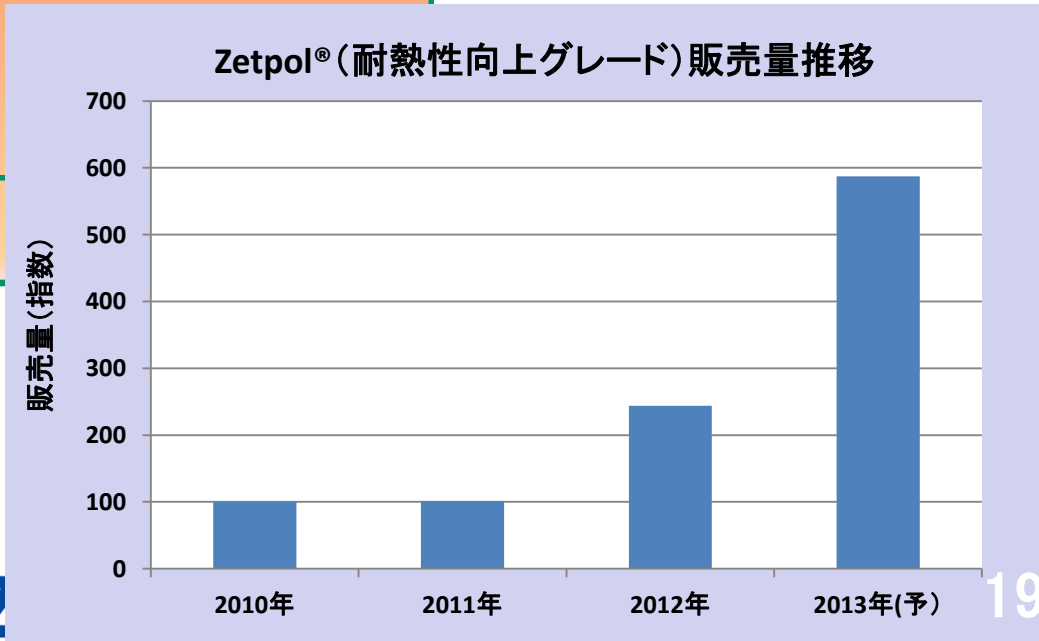
ケンタッキー工場
アクリルゴム増設
2013年7月稼働開始

高機能化する自動車材料への対応



2013年3月より川崎工場内
新規設備で本格商業生産を
開始

アルコール燃料から潤滑油周りの
シール、ガスケット、ダンパー、ホースへ
成型品としての耐熱ニーズに開発中。



トウペ買収によるアクリルゴム事業統合

研究体制/固有技術の統合 による新しい価値の提供

ゼオン

トウペ

スピードある開発

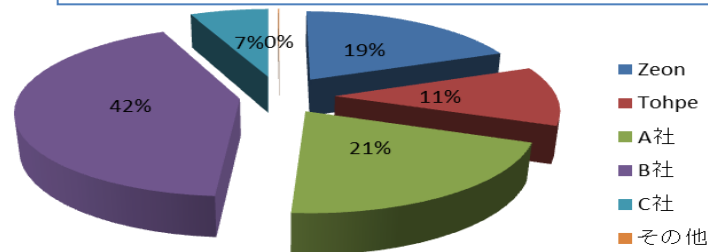
ユニークな新製品の開発

- ・超耐熱グレード
- ・二次加硫不要グレード
- ・加硫速度調整グレード

グローバル体制による技術サービス

世界のアクリルゴムシェア

日本ゼオン+トウペ⇒30%



シナジーの効果

コスト競争力の追求

ゼオングローバル展開

11/1 販売 研究
物流 購買統合

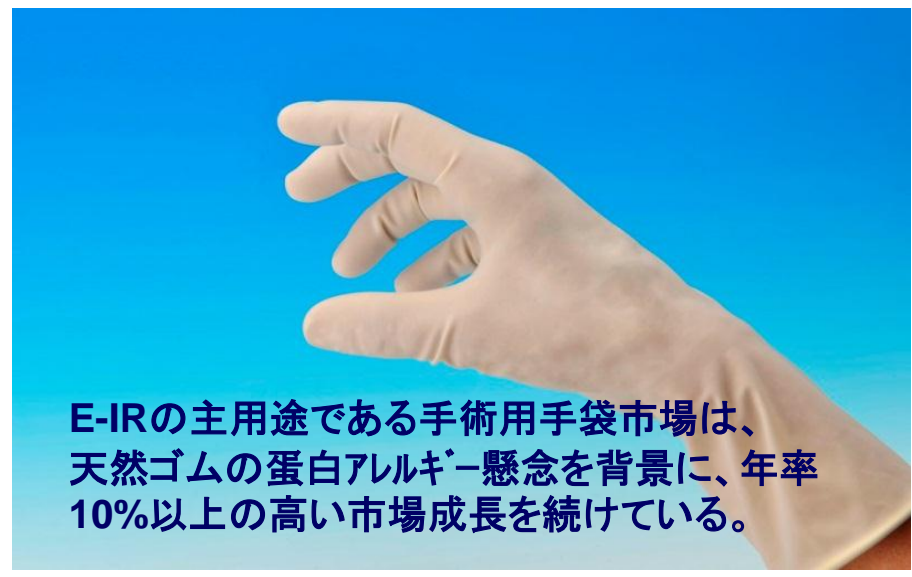
物流効率化

販売効率化

8/1 完全子会社

タイムフレーム

一次設備増強工事完了し、手術用手袋向け等に販売拡大



更なる生産能力増強に向け検討中。

事業セグメント別戦略

エラストマー素材事業

成長市場への
グローバルな対応による
強い事業の更なる強化

高機能材料事業

重点3事業分野での
研究開発の加速による
事業拡大

高機能材料事業の重点3事業分野

情報用部材
(オプト用) (実装用) (電子用)

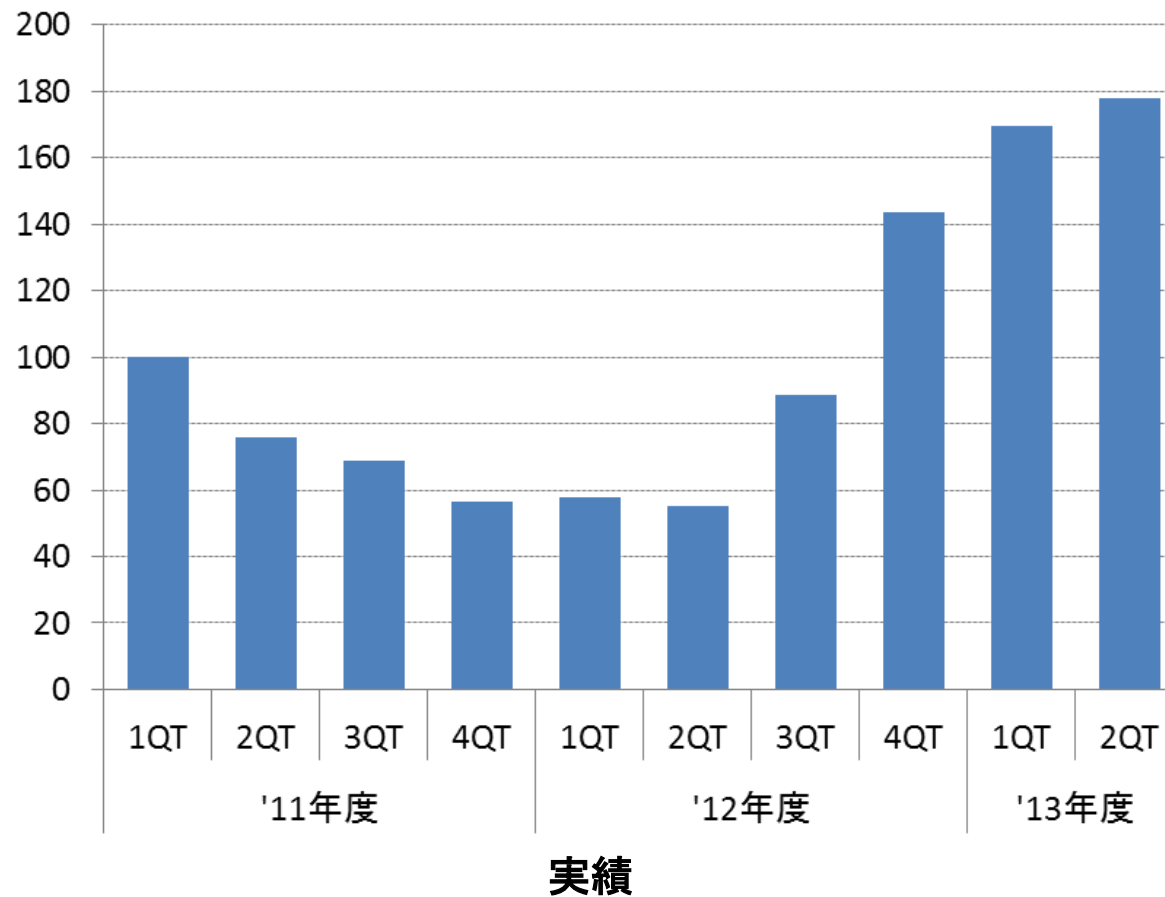
エネルギー用部材

メディカルデバイス

高機能素材

販売数量
(指数)

当社光学フィルムの販売数量推移



※ 指数は'11年度1Qの販売数量を100とした場合

斜め延伸位相差フィルムの新工場(福井県敦賀市)が完成

既存の斜め延伸設備と合算した生産能力は2,500万㎡/年になる。

- 中小型用フラットパネルディスプレイ向けの更なる需要拡大に対応
- 事業継続計画の観点等を考慮

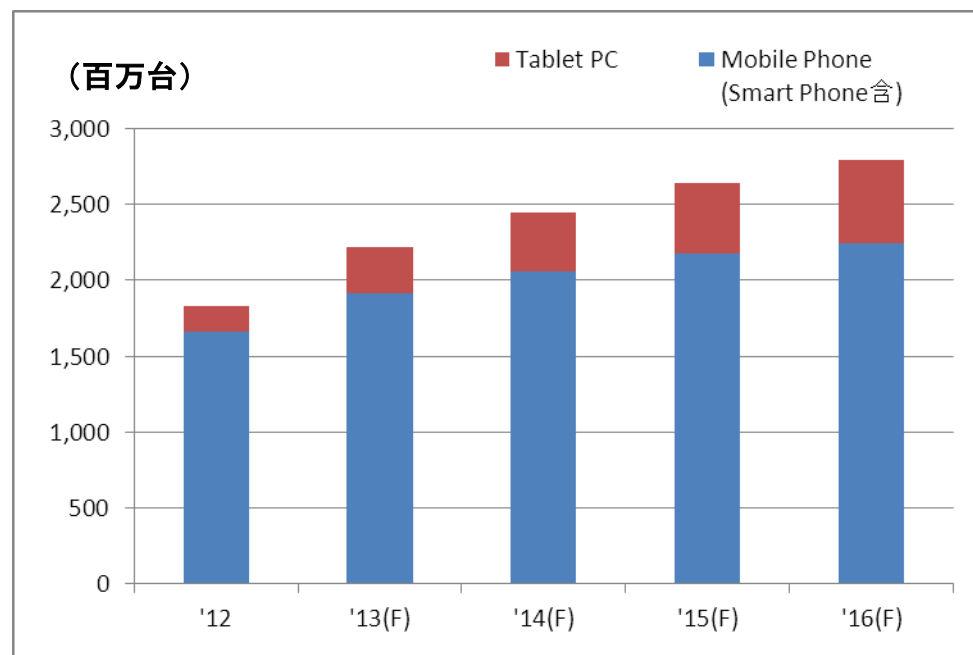
【新工場の概要】

- ・ 生産能力: 約1,000万㎡/年
- ・ 竣工: 2013年10月
- ・ 商業生産: 13年度中に開始予定



新工場外観

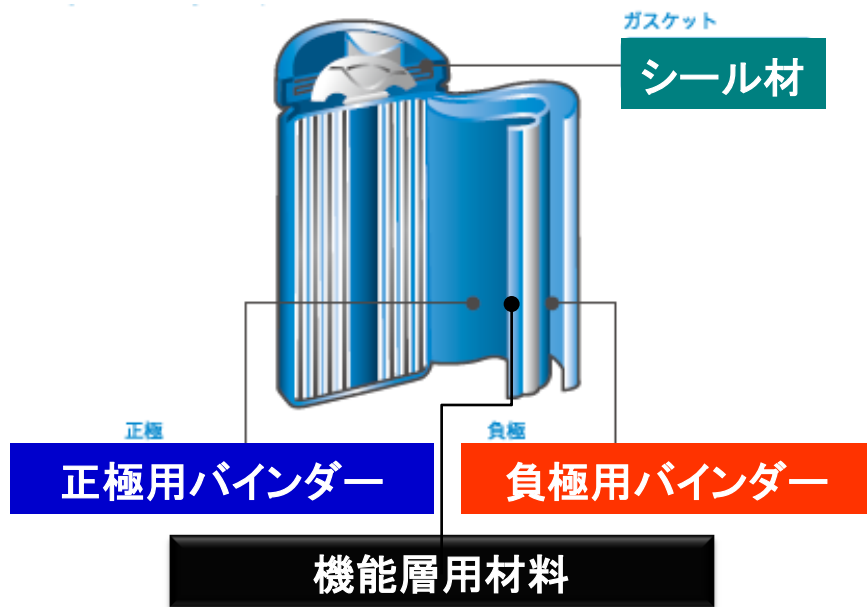
スマートフォン・タブレット全世界台数



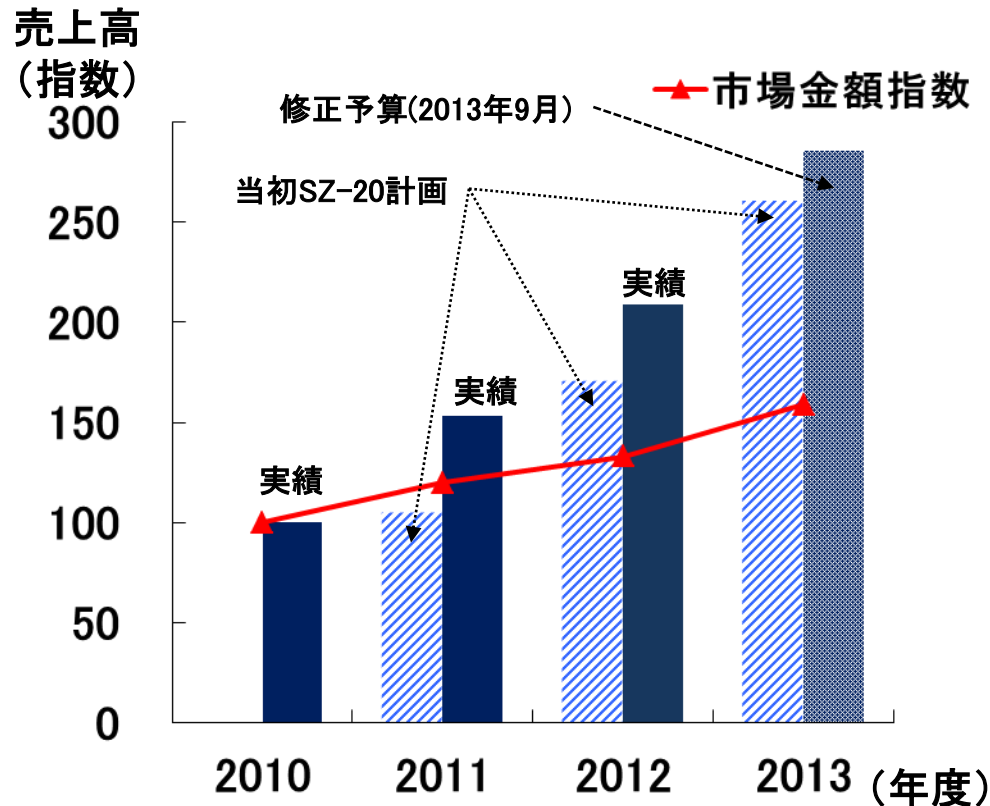
(出典: ディスプレイサーチ)

エネルギー材料事業は、製品群を拡大させ、当初目標を上回り順調に事業拡大

ゼオンのリチウムイオン電池向け製品



ゼオンの電池材料売上

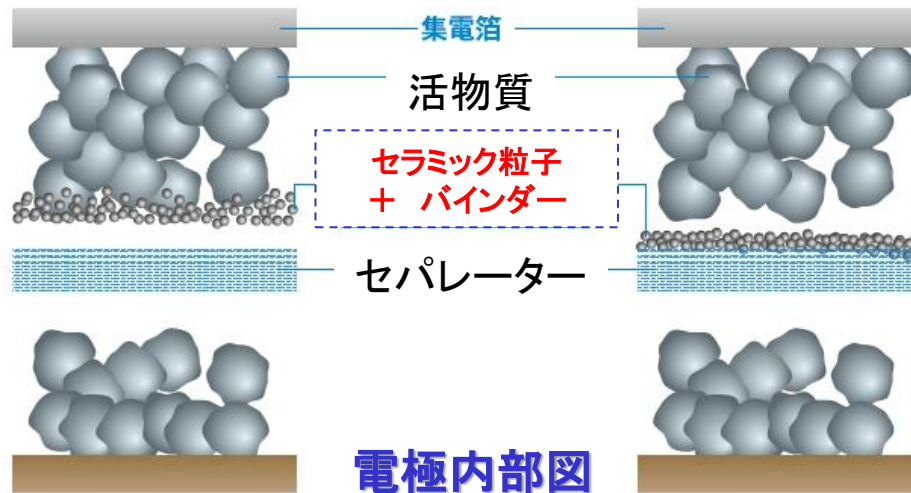


* 指数は2010年度を100とした場合

* 市場金額は、B3社レポート(2013年2月)に基づく

バインダー事業で技術をリードしてきた知見を生かし、スラリー事業の展開を開始

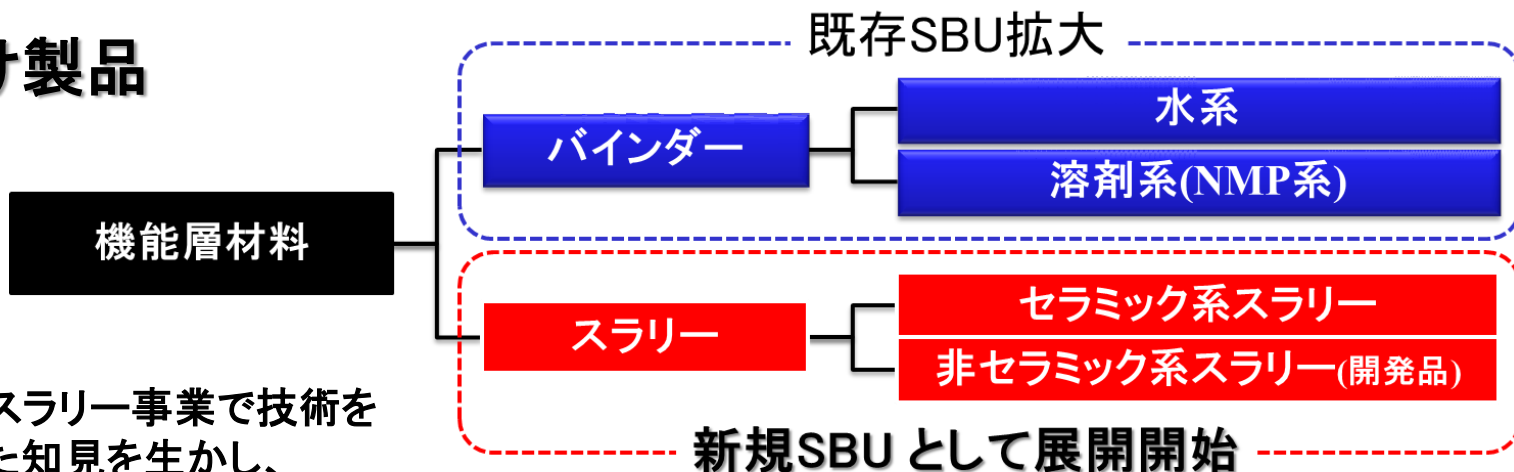
機能層の役割



1. 寿命特性
2. 注液性

等向上させる
機能層用材料
(スマートフォン、車載用途で
多く採用されている。)

機能層向け製品



機能層用のスラリー事業で技術を
リードしてきた知見を生かし、
市場からの要望の高いスラリー事業の展開を始めた。

『石採りのゼオン』

結石除去デバイス全体で目標シェア50%

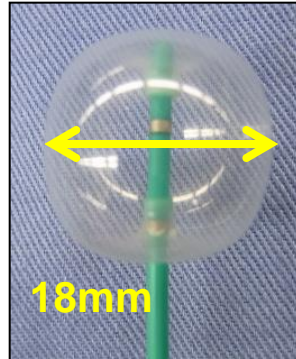
採石バルーンカテーテル

市場ニーズに応え新製品、改良品投入



捕捉
up
⇒
径拡張

2005年上市



EXバルーンカテーテル

捕捉
up
⇒
形状
改良

2010年上市



オフセットEX
バルーンカテーテル

捕捉
up
⇒
水で
洗い
流し

新製品

2013年2月上市



バルーンカテーテルB

採石バスケット



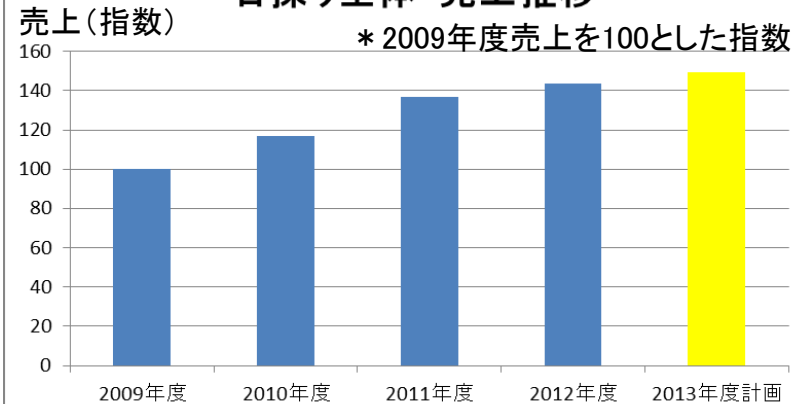
バスケットカテーテルNT

碎石バスケット



クラッシャーカテーテル

石採り全体 売上推移



中国広州に販売拠点設立。
薬事登録製品の順次増加、販売拡大を図る。

会社名	瑞翁(広州)医療器械有限公司 Zeon Medical (Guangzhou) Inc.
所在	510620 広州市天河区体育東路138号 金利来数碼網絡大廈1706A室
資本金	200,000 USD
出資比率	ゼオンメディカル(株) 100%
営業開始	2012年12月
董事長	澤宗樹 (ゼオンメディカル(株)社長)
総経理	周永偉
従業員	5名 (2013年10月)
事業概要	循環器、消化器等の輸入、販売



カーボンナノチューブ(CNT) サンプル製造、サンプル提供を開始

カーボンナノチューブ事業の取り組み(CNT製造)

NEDO
CNTキャパシタ開発PJ成果
基板大面積化



連続合成技術



スーパーグローース法CNT実証プラント

大面積・連続化



補正予算事業(2009年度)

2011年度～ 産業技術総合研究所(産総研)共同事業
量産技術開発、少量サンプル提供

2012年度～ 日本ゼオン独自での製造開始

産業化を見据えたサンプル提供
(B to Bによる事業化促進)

カーボンナノチューブ(CNT) 用途開発を加速

カーボンナノチューブ事業の取り組み(CNT用途開発)

CNT用途開発

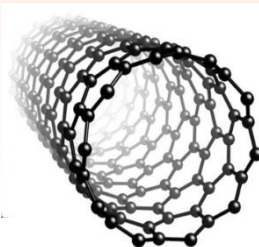
単層カーボンナノチューブ融合
新材料実用化技術研究組合
(TASC)

理事長:

日本ゼオン(株) 取締役会長
古河直純

CNT事業 参加企業

産業技術総合研究所、東レ株式会社、
日本電気株式会社、帝人株式会社、
住友精密工業株式会社
日本ゼオン株式会社

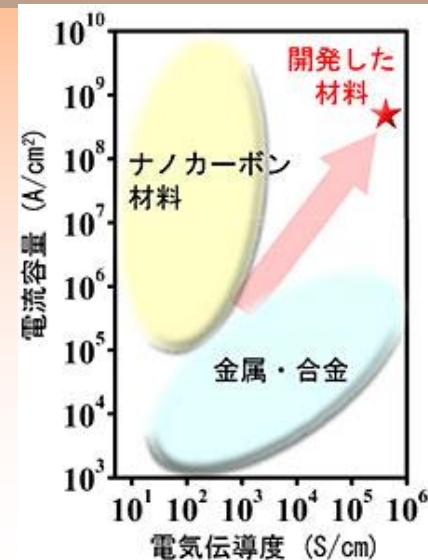


◆銅/CNT複合材料

銅と同程度の電気伝導度、銅の100倍まで電流を流せる銅/CNT複合材料
デバイスの小型化・高性能化に対応できる配線材料として期待



今回開発したCNT銅複合材料

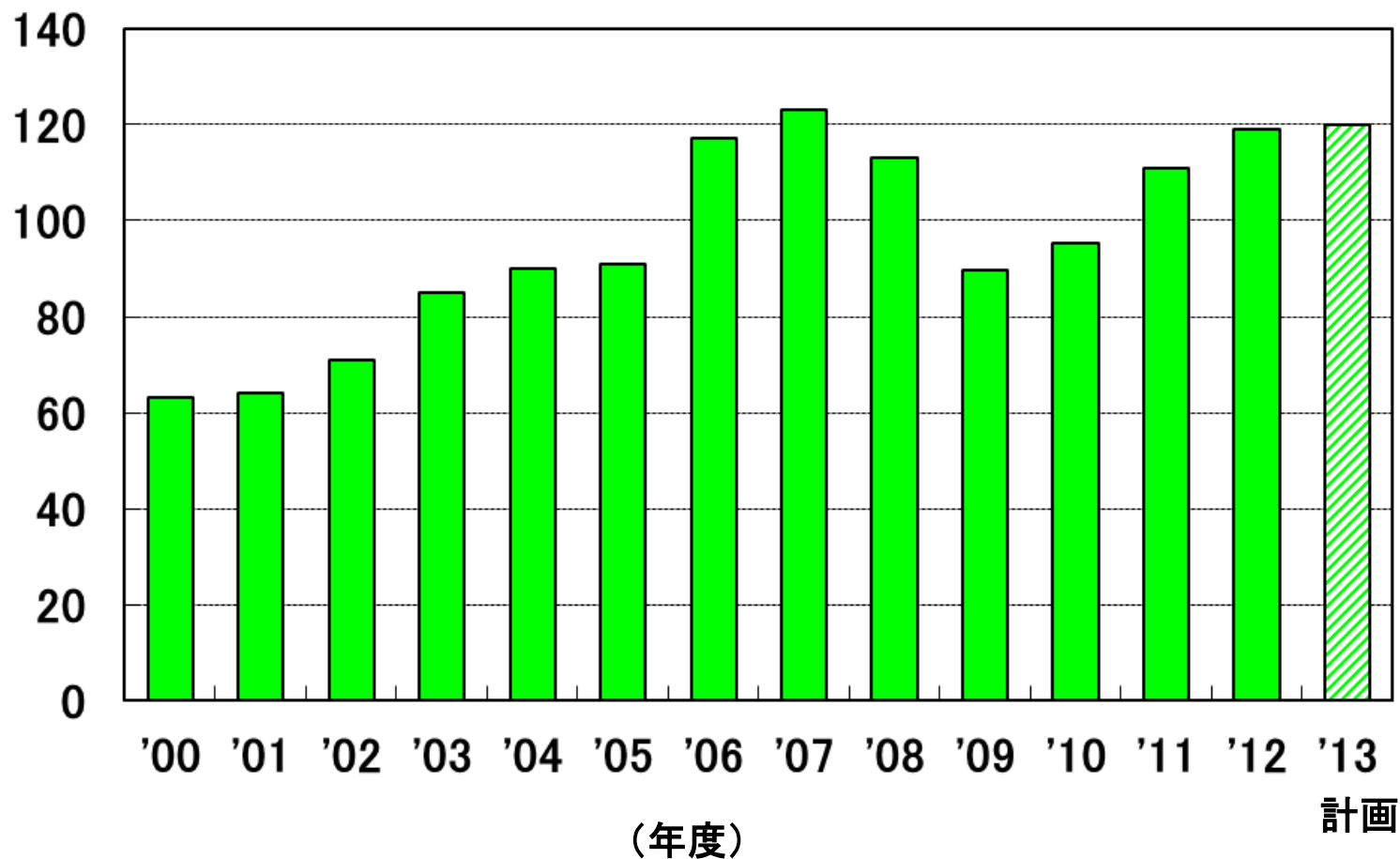


(出典: 産業技術総合研究所)

研究開発費の推移

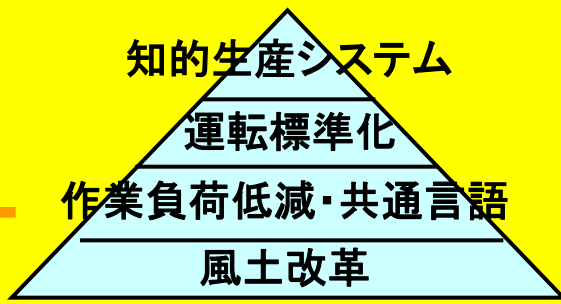
(億円)

連結研究開発費推移



コスト競争力の向上

【生産革新】※



トップダウン
で推進

ゼオンのコスト競争力強化

ボトムアップ
で活動

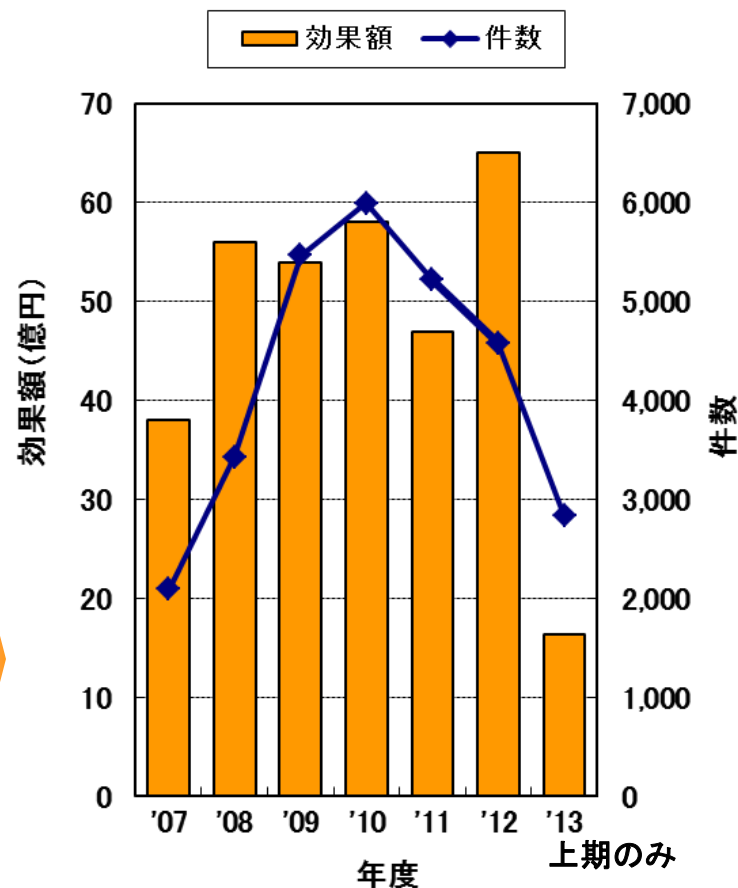
【ZΣ活動】

- ★コストダウンテーマ
- ★サークルテーマ(小集団活動)
- ★コスト意識醸成・教育

テーマ化

革新・改善活動を継続

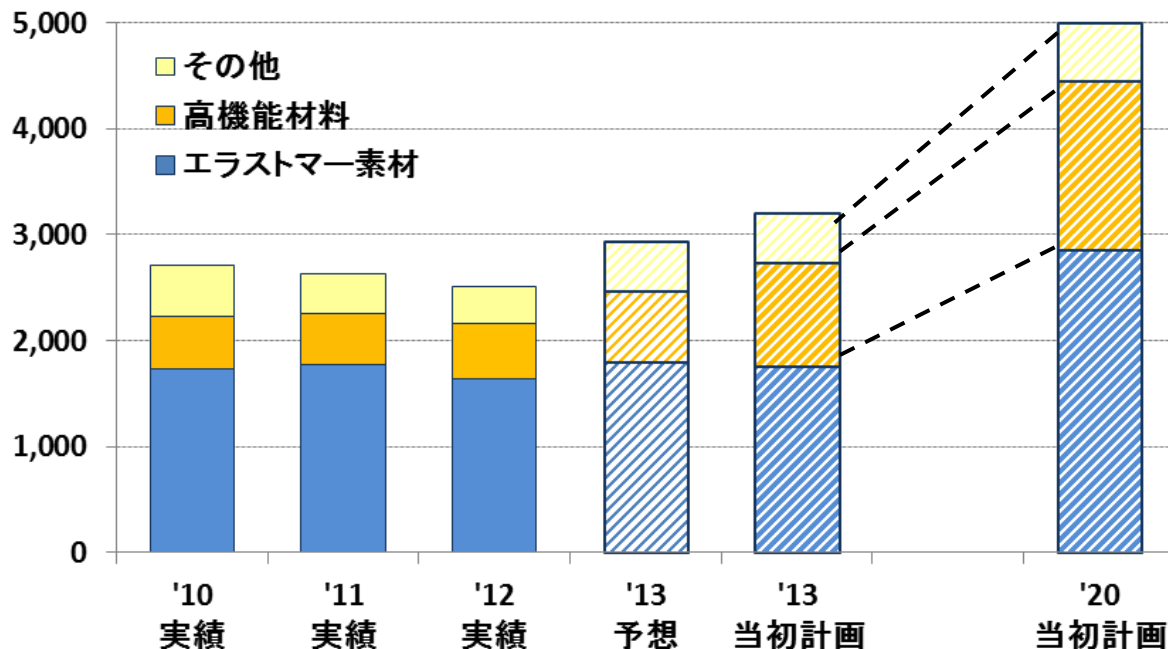
ZΣ活動 効果額・テーマ件数推移



※生産革新:ダイセル式生産革新手法

2020年度 連結売上高5,000億円 を目指す

売上高
(億円)



連結売上高

(億円)

'10年度	'11年度	'12年度	'13年度		'20年度
			予想	当初計画	当初計画
2,704	2,628	2,508	2,930	3,200	5,000

設備投資額

(億円)

'10年度	'11~'20年度累計
103	3,200

スピード

対話

社会貢献

—仲間との相互信頼—

以 上

本資料に掲載されている当社の計画、見通しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

日本ゼオン株式会社 CSR統括部門 広報室
東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル
Tel:03-3216-2747, Fax:03-3216-0501